

箱抜き工事

スポボイド

NETIS登録 KK-220011-A

各種防護柵の支柱の根元の箱抜き工事を行う際に、縦穴を設けるために使用する道具です。



φ100×H200
φ75×H400



縦穴の前後左右の位置を決め、栈木を型枠へ取付けます。
栈木へスポボイドを固定しアイボルトを緩め高さを調整し、再度締め付けたら取付け完了です。

生コンが固まったのちにスポボイドを抜き取ることで防護柵の足元を埋めるための縦穴を形成できます。

抜き取ったスポボイドを転用することで産業廃棄物の削減になります。



ハイポイント300Hタイプ



別売りの「ハカマ・フタ」とセットで使用します。

スラブ厚300mmまで対応します。

ポリエチレン製の本体は剥離性がよく転用可能です。

20本入

ハカマ・フタ

別売りの「ハイポイント300Hタイプ」とセットで使用します。穴を利用し下の階の床の基準墨を、上階のスラブへ反映させ、使用後はフタを被せ補修します。

ハカマ・フタ 45組入

